



南高SSHだより

第1号
H29.7.4
新潟南高等学校
SSH部発行

学校設定科目「江風SS」の展開

新潟南高等学校は、本年度SSH事業15年の節目を迎えました。

本事業について、これまでさまざまご指摘を受け、平成27年度の間評価ヒアリングにおいて抜本的な改善策を文部科学省に提示し、平成28年度から、「課題研究の充実」、「全校で取り組む探究活動」、「全校体制の再構築」及び開発課題「未来を担う科学技術系グローバル人材養成」のための新たな「アメリカ研修」の実施等を目的とし、SSHに関する学校設定科目を全面的に改め、事業を推進してきました。

昨年度、1年生理数コースの生徒は、学校設定科目「江風SSI」で高大連携科学講座や臨地研修をとおして主体的な課題発見能力を育成し、課題研究の基本的スキルを身に付けるとともに、理数への興味関心の向上や科学的視野を広めてまいりました。具体的には、平成28年度の「SSHだより」をご覧ください。

また、1学年全員が「進路探究型の総合的な学習の時間」を使って、新潟大学全学部説明会(全10学部)や新しくできた創生学部のご協力のもと「水、エネルギー、環境シンポジウム」を開き、身近な環境問題を学びました。さらに、本校教諭による教科に関連した「課題説明会」や、大学教員、報道関係のお仕事をされている方、地元の企業経営者等々、様々な職業分野の保護者からお話をうかがう「課題テーマ講演会」を開くなどして、課題発見学習を行いました。

そして、今年の1年生も学校設定科目「江風SSI」と「進路探究型の総合的な学習の時間」に更なる改善を加え、取り組んでいます。

2年生は新たな「新潟南高校の学び」を開拓すべく、学校設定科目「江風SSII」「江風SSG」で、全員が課題研究に取り組んでいます。文理融合型の課題を含む研究テーマは88にも上ります。その課題研究の成果を持って、来年3月13～20日の間、約60名の生徒がアメリカ研修に臨みます。この研修には、ロサンゼルス領事館のご協力を得て、同時代を生きる現地高校生との交流やアメリカの政府機関であるNASAジェット推進研究所、カリフォルニア大学での研修などを予定しています。このように、新たな「科学技術系グローバル人材養成型アメリカ研修」を実施します。

来年度の3年生は、学校設定科目「江風SSIII」で、課題研究の結果を全員が英語で研究発表し研究論文を作成することとしています。その成果を広く学会発表や各種科学賞に論文応募し、科学技術・理数系コンテストに挑戦します。

この2年間で、新潟南高校のSSHを学校設定科目「江風SS」と探究型キャリア教育を中核とし全面的に改善を行ってまいりました。これからも、全校体制で課題研究の充実に努めて参ります。

新潟県立新潟南高等学校 校長 青山一春



新潟南高校 SSH 活動について

平成 29 年度 SSH 事業がスタートしました！

平成 25 年度に 5 年間の指定を受けた第Ⅲ期 SSH は、今年度 5 年目を迎えました。新潟南高校の第Ⅲ期 SSH は、

将来国際的に活躍する科学技術系人材 「科学技術系グローバル人材」 の育成を目指しています

学校全体で SSH の活動に取り組んできました。

今年度も SSH の活動に、さらに多くの生徒たちからの積極的に参加を期待します。

★南高校 SSH の紹介（H 2 8 年度の各事業から）



江風 S S I （1 年理数コース）

アクティブ・ラーニングと課題発見・解決



課題研究英語発表会（3 年理数コース）

英語で課題研究についての発表と質疑応答



江風 S S II （2 年理数コース）

1 2 グループで物・化・生・数の研究



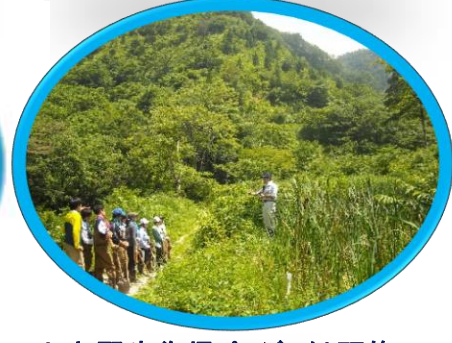
課題研究発表会（2 年理数コース）

ポスターセッションでの発表と意見交換



国内臨地研修（2 年希望者）

県外大学の先生による講義と実習



トキ野生復帰プロジェクト研修

佐渡でトキに関する学習と実習

NEW!



江風 S S G（2 年生全員）

2 年生全員が、文理合わせて 7 6 のテーマについて、グループで研究しています。

南高 SSH のもう一つのチャレンジ

「科学オリンピック」に挑戦します！

数学甲子園・物理チャレンジ・生物オリンピック・化学グランプリなどへの参加、全国大会や国際大会への出場を目指して取り組んでいます。

課題研究から「科学コンテスト・学会ポスター発表」へ挑戦します！

日本学生科学賞・朝日学生科学賞・神奈川大学の科学賞・バイオサミット・動物学会・日本植物学会でのポスター発表を目指して課題研究に取り組んでいます。